

「株式会社 姫路シティFM21」

第21回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 平成17年12月17日(土曜日) 午後1時30分～午後3時00分

2. 開催場所 姫路市本町68イーグレひめじ地下2階ミーティングルーム

3. 出席状況

1) 委員総数 11名

2) 出席委員数 7名

3) 出席委員の氏名(敬称略、順不同)

大谷 昭仁 柳谷 郁子

保都 勝也 森下 吉伸 岩成 孝

前島 節子 段 秀和

4) 欠席委員の氏名(敬称略、順不同)

勝木 洋子 笹間 清二

長谷川展也 岸田 直美

5) 会社側出席者氏名

石塚 勝行 (専務取締役 放送部長)

山南 俊雄 (常務取締役 営業部長)

小幡 博 (営業企画 課長)

小林 寛幸 (編成制作 担当)

4. 議 題

1) 放送及び事業の報告

2) 年末特番について

3) 試聴

4) その他

【 議事の概要 】

1) 放送及び事業の報告

- ・ 2005年9月から2005年12月まで、資料をもとに報告。

2) 年末特番について

3) 試聴

【主な質疑応答の概要】

① 夢前町ケーブルテレビへの再送信について

前島委員：CATV夢前の再送信について。夢前町ケーブルテレビは98%が加入していると言うが、町民の受け止め方は？また、町民からの声は届いているのか？

石塚：多チャンネル化によるメリットは感じていると思う。町民の声はまだモニターできていない。

大谷委員長：ケーブルテレビに対する夢前町民の期待は大きいようだ。

石塚：WINK（姫路ケーブルテレビ）のネットワークも拡大していくことと思う。ケーブルによる再送信も、アンテナ端子への接続が必要など、年配者にはわかりにくい作業があり、すぐ聞けるというわけでもない。より簡素な方法が取れないか、交渉していく。

森下委員：夢前で流す番組は同じものか？特化したものを流す予定はあるのか。

石塚：放送自体は、再送信であり同じものである。但し、今後は市域の拡大を前提にした広範囲な情報発信を心がけていく。

森下委員：98%加入の媒体なら、スポンサーによっても魅力的なのでは。加入率を伸ばしていく上で、夢前の成功事例をとりいれて、顧客拡大できるのではないか。

石塚：地域の人にとって、地元の情報が流れるのは大変うれしいことである。当社としても、地域を取り上げる努力を進めていきたい。

② 放送免許の再免許について

柳谷委員：放送免許の再免許について。資格や条件などがあるのか。

石塚：地元情報の発信、出力20W以下などを条件に許可される。送信出力については、上限を元に、総務省で精査されるため、どの局でも20Wが許可されているわけではない。

大谷委員長：再免許されずに資格を失うことはあるのか。

石塚：再免許については、免許更新ではなく、5年ごとに審査があり発行される。そのため、条件を満たさなければ許可されないという可能性はある。

但し、当社は、コミュニティ各局の中でも放送・経営ともに高いレベルを維持しており、問題ないと考えている。

③ 年末特別番組について

大谷委員長：多元中継の経験はあるのか？

小林：例年の特番でも実施している。中継そのものは、昼のワイド番組でもレギュラーコーナーとして実施している。

大谷委員長：今回は特設スタジオを設置するとあるが。

小林：サテライトスタジオを商店街に設けるのは初めての経験である。NPO法人 姫路コンベンションサポート（電博堂）さんの協力を得て、進めている。

森下委員：同じタイミングで、他の催しは開催されるのか。

小林：現在のところ、中心商店街周辺では聞いていない。当社スタジオのあるビルにおいても、今年はイベントの予定はない。

④ その他

森下委員：フリーマガジンの配布はどのようにしているのか

小林：公共機関・理容店・美容店などの協力店舗に2万部設置。集合住宅へのポスティングで1万部配布している。商店街にもラックを設置しているため、効果は確実にあがっていると思う。

大谷委員長：姫路市の観光課が街頭に設置しているラックに置かせてもらえるように頼んでみてはどうか？

石塚：姫路市が出資しているとはいえ、一民間企業のものをおかせて貰えるかわからないが、確認のうえ交渉したい。

柳谷委員：映画の話題を聞いた事がないが。

小林：「映画館へ行こう！」「逸品シネマ」など、各パーソナリティの日替わりメニューとして、放送している。

岩成委員：年越し特番について、WINKは取材してくれないのか？

石塚：今のところ取材の予定はない。

柳谷委員：WINKとの連携は？

石塚：具体的にはないが、将来的には取材等での協業も考えたい。

大谷委員長：インターネット関連の話はあるのか。リスナーからのメッセージは？

小林：今はハガキやFAXなどよりもメールがほとんど。WINKでは、1週間同じ番組が流れているが、当社は生放送を主体とした1回限りの放送。そのため、放送コンテンツが使い捨てのような形になるので、ホームページなどに各スタッフが取材や放送内容を掲載している。

森下委員：ネット放送の計画はあるのか？

小林：著作権の問題があるが、研究したい。

午後3時00分、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

- 審議会からの答申または改善意見の内容
なし
- 審議会からの答申または改善意見に対して取った措置
なし

公表年月日 平成18年1月10日

公表内容 審議の概要

公表方法 自社放送1月10日7時00分～09時00分「きょうもGENKIで！」内
事務所据え置き

インターネットホームページ (<http://www.fm-genki.com>)